

黒部市行政改革実行計画 ＜アクションプラン＞

平成23年度

(平成22年度～平成26年度)

(H23.4～H24.3)

平成24年3月

期末報告

黒部市行政改革推進本部

 新規
 継続
 継続(見直し)

No.	基本項目	1. 市民と共に進める地域経営	取組実績	担当課	全庁 総務企画部 企画政策課						
				(下線は主管課)	H22	H23	H24	H25	H26		
1	細目	(1)市民との協働の推進	<p>7月末 平成23年度事業のうち、協働にふさわしい事業の取りまとめ完了</p> <p>5/18 自治振興会連絡協議会で、平成22年11月に策定した「協働のまちづくりガイドライン」と協働を説明</p> <p>・協働のまちづくり啓発普及パンフレット(平成23年度内に市内全世帯に配布予定)素案の作成及びパワーポイント資料の作成</p> <p>・会議等の機会を利用し「協働のまちづくりガイドライン」の周知に努めた。</p> <p>・環境衛生や防犯などについて自治振興会を中心として、市民と市が対等なパートナーという立場で、連携・協力しながら取り組んだ。</p> <p>NPO法人: デイサービスなごみの里 (H23.12.19認証)</p> <p>NPO法人: ちびっこきらら保育園 (H24.1.26認証)</p>								
	取組事項	市民との協働による市政の推進		スケジュール	検討	実施	→	→	→		
	取組内容	市民と行政が協力・連携して担う「協働のまちづくり」による市民と行政との新たな関係を創造するため、ガイドラインを策定のうち協働への仕組みづくりの方向性を構築するとともに、ガイドラインに基づき、「市民と行政の役割分担の推進」をはじめ、「地域活動団体等による自主管理事業の促進」、「NPO、ボランティア団体等の市民活動への支援」等に取り組む。さらに、本市がどういう方向で「市民参画と協働によるまちづくり」を進めるのか、市民にわかりやすく明確にするために、市議会との調整を図りつつ市民と協働で「市民参画条例の制定」に向け検討する。 H22 「協働のまちづくりガイドライン」策定		数値目標	8	9	10	11	12		
				達成値	9	11					
				進捗目標	ガイドラインの策定				市民参画条例の策定		
				達成度	ガイドラインの策定						
				財政効果							
		*協働のまちづくり 地方分権が進む中、よりよい地域社会を実現するため、社会貢献活動や公共的な地域活動に対して、市民と市が対等なパートナーとして連携協力した立場で取り組むもの お互いの特性を活かした役割や経費の分担、責任の所在を明確にした上で、自立したまちづくりを目指す	備考	数値目標: NPO法人の数							


No.	基本項目	2. 行政の公正の確保と透明性の向上	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 企画政策課					
2	細目	(1)開かれた行政の推進	<p>・様々な広報媒体から適宜、効果的な手法を選択し、情報発信を実施</p> <p>・CATV、コミュニティFMラジオ連携生放送番組(ラジオの生放送番組におけるパーソナリティーとゲストとのやり取りをCATVでも生放送し、情報の即時性と発信の多様化の推進。普段は見れないラジオ番組の視覚化を図ること目指す)の試行</p> <p>・ホームページのレイアウトをリニューアル トップページを発信情報別に分類し、分かりやすく、使いやすいものとしたほか、写真を多用するなど、視覚的にもHP訪問者へ訴えるものとした。</p> <p>・姉妹都市交流事業で根室市の市民ジャズバンド「イースト・ポイント・ジャズ・オーケストラ(EPJO)」のコーラレでのJAZZライブをCATVでスポット放映し、反響があった。</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	市民にわかりやすい情報提供と様々な広報媒体の活用		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	<p>広報くろべを中心に市政情報を一元的に収集・管理し、一体的・効果的に発信する。 (市ホームページ、ケーブルテレビ行政番組、ラジオミュ、新聞・テレビ等のより効果的な活用と適切な情報発信)</p> <p>H22 情報発信担当課・窓口を企画政策課へ一元化</p>		数値目標						
		達成値								
		進捗目標								
		達成度				HPリニューアル				
		財政効果								
備考										


No.	基本項目	2. 行政の公正の確保と透明性の向上	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 企画政策課					
3	細目	(1)開かれた行政の推進	<p>・H23年度タウンミーティングテーマの検討</p> <p>・性別、年代のバラエティに富んだ方々が参加できるように、現在のタウンミーティングの手法を精査</p> <p>(実績)</p> <p>新庁舎建設タウンミーティング 302人 5月10日 中央公民館 5月12日 市民会館</p> <p>総合振興計画後期基本計画について 266人 11月21日 石田交流プラザ 11月22日 中央公民館 11月25日 生地コミュニティセンター 11月29日 市民会館大ホール</p> <p>11月28日 市長のスクールミーティング実施(中学3年生26人)</p> <p>出前講座、市長出前トークについては、24年度当初からの実施を検討中</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	タウンミーティング(市民との対話集会)の開催		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	<p>タウンミーティング(市民との対話集会)への参加者をより多く得るため、テーマや参集対象者、開催時期、開催回数などについて検討する。</p> <p>*H21テーマ：地域医療体制 総合交通ネットワークの整備 新庁舎建設</p> <p>・開催回数：6回 ・参加者数：584人</p> <p>*H22テーマ：小中学校の再編 自然エネルギーの利活用 水博物館の整備</p> <p>・開催回数：4回 ・参加者数：314人</p>		数値目標			500人			
		達成値		314人	379人					
		進捗目標								
		達成度								
		財政効果								
備考	<p>数値目標：タウンミーティング参加延べ人数(4回分) 568人×4回/6回=379人</p>									

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)					
				全庁 総務企画部 総務課					
4	細目	(1)組織・機構の見直し	<p>・次年度以降の人員計画(退職・採用)やプロジェクト事業の推進に合わせた組織体制の在り方を検討</p> <p>・新庁舎建設研究会(庁内組織)において窓口体制(ワンストップサービス体制)の在り方を検討(8月～9月)</p> <p>H24.4 行政課題に対応するため、組織改編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長政策室設置 (企画力調整強化のため企画政策課を移管) ・収納調査班長兼務(税務課内) ・新庁舎建設班長配置(総務課内) ・有害鳥獣対策班長配置(農林整備課内) ・図書館構想推進班長配置(図書館内) ・通信救急課の新設 (消防広域化に備えた通信体制の強化) <p>※H24. 4月現在 29課</p>		H22 (H23)	H23 (H24)	H24 (H25)	H25 (H26)	H26 (H27)
	取組事項	組織・機構の見直し		スケジュール	検討実施	→	→	→	→
	取組内容	<p>分庁舎方式による現行の組織・機構について、業務効率、財政効果、市民サービスの維持向上の観点から総合的な検討を毎年継続し、その都度状況に応じ、行政組織(部、課、係等)の統合等によるスリム化を図る。</p> <p>※H22. 4月現在 29課 ※H23. 4月現在 28課</p>		数値目標	△1			△1	
				達成値	△1 (28課)	1 (29課)			
			進捗目標				新庁舎執務に伴う組織体制の見直し		
			達成度						
			財政効果						
			備考	課長等が配置されている課の数の削減数					

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)					
				市民生活部 こども支援課 学校教育課					
5	細目	(1)組織・機構の見直し	<p>黒部市保育・教育あり方検討委員会の提言をうけ、統合施設の基本設計及び実施設計に取り組む(12月末まで)。</p> <p>1月補正で建築費を予算化し、3月に契約・着工した。</p> <p>今後 平成25年4月から現中央幼稚園の場所に統合幼稚園を開設予定 対象 3歳児～5歳児 100人程度</p>		H22	H23	H24	H25	H26
	取組事項	幼稚園の統合・幼保一体化		スケジュール	検討	→	→	統合等	
	取組内容	<p>幼稚園の児童数の減少が続いている現状にあることに加え、施設の老朽化や幼稚園に対するニーズの変化などを考慮し、どのような形での統合や幼稚園と保育所の一体化が必要とされるのか検討する。</p> <p>H22 幼稚園の統合・幼保一体化について提言</p>		数値目標					
				達成値					
			進捗目標	委員会設置	設計・着工	竣工	統合		
			達成度	委員会設置・提言	設計・着工				
			財政効果						
			備考						

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課		教育委員会 学校教育課				
				(下線は主管課)						
6	細目	(1)組織・機構の見直し	次のとおり、学校教育基本計画における学校再編の考え方について説明し、意見交換を行った。また、教育振興協議会において経過、結果を検証し、今後の取組方針を検討した。		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	学校規模の適正化及び通学区域の見直し		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	<p>黒部市学校教育基本計画に基づき、子どもにとって望ましい教育環境の実現に向け、必要な施設の整備や教育プログラムを保護者・学校・地域・行政が理解と協力のもと一体となって取り組む。</p> <p>学校再編については、これまでの児童・生徒数の推移を踏まえ、適正な施設規模及び配置になるよう、再編の考え方を次のように例示しており、これをたたき台として、関係者と協議を深めながら実現していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東布施小と田家小の統合(H25頃) ・三日市小と前沢小の統合(H30頃) ・荻生小と若栗小の統合 ・生地小と村椿小の統合 ・中学校を3校以下に再編(H39頃) <p>※これらは、今後の協議によって修正・変更されることを前提としている。</p>	<p><東布施小+田家小></p> <p>5/28 第2回 東布施地区教育懇談会 ⇒『平成26年4月統合』を提案</p> <p>6/ 3 第1回 田家小PTA 教育懇談会</p> <p>6/25 「東布施地区学校統合に関する検討委員会(地元組織)」設置</p> <p>7/15 第1回 東布施保育所保護者 教育懇談会</p> <p>8/ 2 田家地区自治振興会役員等との懇談</p> <p>8/20 「東布施地区学校統合に関する検討委員会(地元組織)」(第2回)</p> <p>10/22 「東布施地区学校統合に関する検討委員会(地元組織)」(第3回)</p> <p>11/25 「東布施地区学校統合に関する検討委員会(地元組織)」(第4回)</p> <p>2/15 「東布施地区学校統合に関する検討委員会(地元組織)」(第5回)</p> <p>3/15 「東布施地区学校統合に関する検討委員会(地元組織)」(第6回)</p> <p>3/19 「東布施地区学校統合に関する検討委員会(地元組織)」が市長へ要望 ⇒『提案スケジュールどおり進められたし』</p> <p><前沢小+三日市小></p> <p>6/16 前沢小PTA役員 教育懇談会</p> <p>9/22 前沢地区自治振興会役員等との懇談</p> <p><4中学校を3校以下へ></p> <p>8/30 第1回 桜井中改築基本方針検討委員会</p> <p>10/20 第2回 桜井中改築基本方針検討委員会</p> <p>11/22 第3回 桜井中改築基本方針検討委員会</p> <p>11/24 「桜井中改築基本方針」教育長へ報告</p> <p>12/ 2 市議会12月定例会(全員協議会)にて「基本方針」を説明</p> <p><共通></p> <p>7/14 黒部市PTA連絡協議会役員との懇談</p> <p><黒部市教育振興協議会(進行管理)></p> <p>7/27 第12回協議会 経過報告及び方針検討</p> <p>2/22 第15回協議会 経過報告及び方針検討</p>	数値目標					10校(△1)	
達成値										
進捗目標										
達成度										
財政効果										
備考				目標数値:小学校数						

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 財政課						
7	細目	(2)組織内分権の推進	<p>枠配分は、市の予算規模からみて実施のメリットが見えないため、実施を見送る。</p> <p>総合振興計画の重点事業の予算枠調整のため総合ヒアリングを実施してきたが、当市の実施状況を勘案し、計画との連携効果を高めるため、方法の見直しが必要である。総合振興計画後期計画を念頭に新たな方法を検討していく。</p> <p>総合振興計画の後期計画の策定にあたり、重点事業等のハード事業費、財源、工程等の調整を行った。</p>		H22	H23	H24	H25	H26		
	取組事項	各部局への予算編成に関する一定権限の付与についての検討			スケジュール	検討	→	→	実施	→	
	取組内容	<p>予算の総合振興計画重点事業枠及び部単位枠の配分について検討する。</p> <p>*総合ヒアリング 毎年初秋に、財政・企画担当両課により各事業執行課に対して行うヒアリング。(予算査定ヒアリングとは別) 中長期に渡る財政見直しに基づき、市の計画(総合振興計画)を効率的・効果的に実施することを目指すもの。各年度前半の事業進捗状況や予算執行率などを確認し、この結果に基づき、翌年度予算編成に係る具体的な考え方を指示する。</p>			数値目標						
		達成値									
		進捗目標									
		達成度									
		財政効果									
備考			枠配分は中止、計画との連携は新しい方式を検討								

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 企画政策課・財政課						
8	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	<p>今後の取り組み 新 現有施設の利用料の適正化 公共施設利用料金の適正化について、庁内組織での調査・検討する。設定がされていない公共施設について、受益者負担の原則に基づき使用料の新設を検討する。(H23下期～)</p> <p>公共施設の利用料の適正化について 施設の現状、類似施設の他市状況等を調べる。</p> <p>H24年度に民間委員による公共施設の使用料の水準のあり方に関して検討を行う準備を進める。</p>		H22	H23	H24	H25	H26		
	取組事項	公共施設の設置と管理運営の見直し			スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	<p>「公共施設見直し指針」に基づき、施設ごとの方向性を明確化したうえで、廃止、他用途への転用、民間への委譲など改善方針を決定したものから具体的取組みに着手する。</p>			数値目標						
		達成値			公共施設見直し指針に基づき実施 現有施設の利用料金の適正化						
		進捗目標				調査	検討・まとめ	料金改定実施			
		達成度				調査					
		財政効果									
備考											

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)		総務企画部 総務課					
						H22	H23	H24	H25	H26	
9	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・7/6新庁舎建設基本構想を取りまとめ、策定員会から報告書として答申 ・基本構想報告書及び市議会からの申入書(7/25)に基づく詳細検討事項について庁内で検討し意思決定 ・9/21市議会9月定例会において市役所の位置を定める条例改正及び設計関係の補正予算措置 ・1/13基本設計業務委託業者を公募型プロポーザルにより決定し、委託業務契約締結 ・1/27～3/27基本設計に伴う5回の打ち合わせを行い、スタディ模型やモデル案の作成 3/5第1回新庁舎建設委員会を開催し、モデル案について協議 			H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	市役所 黒部庁舎・宇奈月庁舎の見直し		スケジュール	検討	→	→	→	→		
	取組内容	分庁舎方式を見直し、新庁舎を建設する。 新庁舎建設にあたっては、事務的、時間的そして経費的に市民の負担軽減に繋がる効率的な行政事務ができる庁内組織や庁舎機能の工夫に取り組む。 この取組みを盛り込んだ新庁舎建設基本構想等の策定と共にその実現に向けた行政組織見直しに努める。 H22 基本構想中間報告を取りまとめた。		数値目標							
		達成値									
		進捗目標		基本構想中間報告	基本構想策定・基本設計着手	実施設計着手	建設着工	建設工事			
		達成度		基本構想中間報告	基本構想策定・基本設計着手						
		財政効果									
		備考									

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)		消防本部					
						H22	H23	H24	H25	H26	
10	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度中に用地取得、一部敷地の造成、基本設計・実施設計を得て、平成23年7月より着工 ・周辺環境整備一部着工。 ・高機能消防指令システムも納入業者が決定し、同システム仕様書の細部打合せを実施。 ・各課OAシステムを構築中。 (H24年度予定) ・耐震性防火貯水槽(100t)及び訓練塔(備蓄倉庫含む)整備 ・広域消防本部機能の整備及び入善町、朝日町の支援情報システム整備について協議 			H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	黒部消防署の見直し		スケジュール	実施	→	→	→	→		
	取組内容	黒部消防署については、用地取得、造成、建屋の基本設計、実施設計及び整備を行う *建設予定地:富山県技術専門学院新川センター北側道路をはさみ向かい *竣工予定日:平成24年末を目処 *施設の規模:現在の消防本部及び黒部消防署における業務を行える規模 H22 地質調査(ボーリング)、基本設計、実施設計及び農道移設工事を完了		数値目標							
		達成値									
		進捗目標		設計造成	造成・建築着工	建設完了・周辺整備	旧庁舎解体				
		達成度		設計造成	建築着工						
		財政効果									
		備考									
			施設概要								
			建設地	黒部市植木761番地1							
			建物	鉄骨造2階建 2,435.43㎡							
				訓練塔3棟							
			竣工	平成24年11月中を予定							

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課	消防本部						
				(下線は主管課)	H22	H23	H24	H25	H26		
11	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	<p>—広域消防も含め黒部市の消防体制がはつきりしてから進めていく。</p> <p>(予定)</p> <p>・広域消防がスタートすることをふまえ、消防体制の見直しを図る必要がある。</p>								
	取組事項	宇奈月消防署の見直し		スケジュール							
	取組内容	宇奈月消防署については、黒部市消防署整備構想策定委員会を開催し、宇奈月消防署の機能を見直し整備する。		数値目標							
				達成値							
				進捗目標							
				達成度							
				財政効果							
				備考							

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課	教育委員会 図書館					
				(下線は主管課)	H22	H23	H24	H25	H26	
12	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	<p>今後の見通し</p> <p>宇奈月館のあり方については、総合振興計画後期計画策定の中で図書館の建設の位置づけを確認した上で、図書館建設基本計画策定委員会等において検討スケジュールを決定する。</p> <p>当面は、電子書籍等を見据えた図書館機能の整備を図る。</p> <p>・図書館情報システムを更新した。(H23.7月)</p> <p>・図書の検索機能を向上させて窓口サービスを高める。</p> <p>・図書の電子アーカイブ化を推進し、将来の電子図書サービスへの対応準備を進める。</p> <p>・今後の図書館構想の参考とするため類似図書館の先進地研修を実施した。</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	黒部市立図書館宇奈月館の見直し		スケジュール	検討	→	→	実施	→	
	取組内容	黒部市立図書館の建設に向けた検討委員会を設置し、新図書館についての検討と併せて宇奈月館のあり方について検討する。		数値目標						
		H22 黒部市立図書館建設基本構想報告書をまとめた。		達成値						
				進捗目標	検討委員会の設置	図書館協議会で検討				
				達成度	検討委員会の設置、提言	図書館協議会先進地見学実施				
				財政効果						
				備考						

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				市民生活部 健康増進課						
13	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	<p>①H25.12月保健センター取り壊しの予定であるため、同年8月中に健康福祉センターに事務所等の移転を完了予定 また、新庁舎建設基本構想では、事務所は庁舎内に、検診機能は併設とすることで計画が進んでおり、その間の保健業務の見直し(開催場所・方法等)を具体的に検討する予定</p> <p>①「H25年8月中に健康福祉センターへ事務所等移転する」ことを事務的にスケジュール確認した。 また、新庁舎建設基本構想に沿って、「事務所は庁舎内に、検診機能は併設とすること」を前提に、それまでの間の保健業務の遂行方法(開催場所等)について24年度中に具体的に検討し、一部事業を試行する準備を行った。</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	保健センター・健康福祉センターの見直し		スケジュール①				実施		
	取組内容	黒部市民病院改築計画(マスタープラン)に伴い、黒部市保健センターについては、移転を求められている。当面の措置としてH24年度に①黒部市宇奈月健康福祉センターに機能を移転する。 今後、保健センターの整備については、広く地域住民の意見を聞くとともに「②黒部市保健センター整備策定委員会」を開催し検討していく。		スケジュール②	検討	→	→			
		H22 新庁舎建設基本構想策定委員会で「保健センターは新庁舎へ併設を検討すべき機能」と位置付け		数値目標						
				達成値						
				進捗目標①		基本構想		移転・センター取壊し		
				進捗目標②		基本構想で方針確認				
		達成度								
		財政効果								
		備考								


No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				産業経済部 農林整備課						
14	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	<p>・施設を打ち合わせ等に利用したいとの要望があり、有効利用を図るため各種団体等の利用を再開(H23.4)</p> <p>・H23年度は、猟友会及び有害鳥獣捕獲隊の会議、役員会、打合せ等に年間を通じ利用された。</p> <p>・有害鳥獣駆除による捕獲個体を生態調査のサンプルとして提供するための解体作業場所として利用承認(H23.8) 県へ提出されたサンプルは学術目的で活用され、同施設が担う公益性は高いといえる。</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	窪野高齢者共同作業センターの見直し		スケジュール	検討	使用者の選定				
	取組内容	設置目的に沿った有効利用がされておらず、利用者ニーズも低いことから、地元などとも協議を行い、施設のあり方について方向性を決定する。		数値目標						
		H22 企業の誘致は地理的にも無理と思われ、これからは広く一般の人が利用できる施設として運営方法を検討する。(休館:H20年1月~H22年3月)		達成値		12回				
				進捗目標						
				達成度		利用再開				
				財政効果						
		備考								

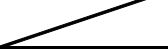
No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	取組実績	担当課 (下線は主管課)					
				教育委員会 給食センター					
15	細目	(3)公共施設の設置と管理運営の見直し	<p>4/1(株)東洋食品と調理・洗浄業務委託契約を締結し、委託開始</p> <p>4/1～4/5調理・洗浄業務リハーサル(ドライ調理システムにより運用開始)</p> <p>4/6給食提供開始</p> <p>7/25調理従事者衛生講習会開催(委託従業員衛生指導)</p> <p>～3月 業者への指導・監督</p>		H22	H23	H24	H25	H26
	取組事項	給食センターの管理運営の見直し		スケジュール	検討	委託の実施	→	→	→
	取組内容	<p>給食センターは、新築移転により、平成23年度から新しいセンターでの運用が始まり、業務開始と同時に調理・洗浄業務を民間委託する。</p> <p>富山県内に11ヶ所ある共同調理場の内、既に7つの調理場が民間委託を実施(H22.4現在)しており、人権費の削減が図られている。(黒部市では約4千万円の削減見込)</p> <p>新センターでは、ドライ調理システムへ調理方法の変更が求められており、当該調理に対応するため、優れた調理のノウハウを持った専門業者に調理・洗浄業務を委託することにより、より衛生的で安全安心な給食を提供することができる。</p> <p>平成22年度に委託業者を選定し、平成23年度から委託実施する。3年ごとに委託業者の見直しをしていく。</p> <p>H22 業者選考委員会による調理委託業者の決定 3/30新給食センター開所、4/1委託開始</p>		数値目標					
				達成値					
			進捗目標	委託業者選定	委託開始		委託業者選定	委託開始	
			達成度	委託業者選定	委託開始				
			財政効果						
			備考						

No.	基本項目	4. 定員管理と給与の適正化	取組実績	担当課 (下線は主管課)					
				全庁 総務企画部 総務課					
16	細目	(1)定員管理の適正化	<p>定年前早期退職者の募集と次年度以降の人員計画に基づく職員採用試験を実施</p> <p>現時点上半期での見込み △2</p> <p>・今年度退職見込数:11人</p> <p>・次年度採用等による増加見込数:9人</p> <p>・H24.3月退職者数:12人</p> <p>・H24.4月採用者数:8人</p> <p>・H24.4月病院へ異動1人</p> <p>H24.4月職員数439人</p>		H22 (H23)	H23 (H24)	H24 (H25)	H25 (H26)	H26 (H27)
	取組事項	定員管理の適正化		スケジュール	実施	→	→	→	→
	取組内容	<p>新たな「定員適正化計画」(計画年次:平成22年度から平成27年度)に基づき、定員管理の適正化に努める。</p> <p>(計画策定時の職員数削減目標)</p> <p>H22.4: 448人⇒H27.4: 420人以下へ</p> <p>(*派遣者等の統計上、H22.4の職員数は446人となる)</p> <p>H23. 4 444人</p>		数値目標	(△3人) 445	(△3人) 442	(△6人) 436	(△7人) 429	(△9人) 420
				達成値	(△4) 444	(△5) 439			
			進捗目標						
			達成度						
			財政効果	No.17(次項目)で計上					
			備考	数値目標:年度当初の職員数(上段:削減数 下段:累計)					

No.	基本項目	4. 定員管理と給与の適正化	取組実績	担当課	全庁 総務企画部 総務課				
				(下線は主管課)	H22 (H23)	H23 (H24)	H24 (H25)	H25 (H26)	H26 (H27)
17	細目	(2)給与・手当の適正化	No.16(前項目)に対する財政効果						
	取組事項	一般職員の給与の適正化	・前年度給与費決算額に対する削減額を次により測定することで比較 *削減額測定:(前年度人数-当該年度人数) ×前年度1人あたり人件費	スケジュール	実施	→	→	→	→
	取組内容	<p>国・県に準じた給与支給体系を維持しつつ、時間外手当、特殊勤務手当などの改善見直しを図るとともに、「定員適正化計画」に基づく人員削減計画により給与費総額の削減に努める。</p> <p>【参考】 1人あたり人件費 H21: 7,852千円 H22: 7,623千円 H21⇒H22人員減:△7人 財政効果:54,964千円 H22⇒H23人員減:△2人 財政効果:15,246千円</p>	<p>H23⇒H24人員減 △5人 財政効果:37,680千円 (=7,536千円×△5人)</p> <p>【参考】 H23:1人あたり人件費 (社会保険料事業主負担含む) 7,536千円</p>	数値目標	(△24) △24	(△21) △45	(△57) △102	(△47) △149	(△71) △220
				達成値	(△15) △15	(△38) △53			
				進捗目標					
				達成度					
財政効果	15,246	52,926							
備考	数値目標:前年度に対する削減額(単位:百万円) (上段:単年度 下段:累計)								

No.	基本項目	4. 定員管理と給与の適正化	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 総務課				
18	細目	(2)給与・手当の適正化	<p>・年度当初に「時間外勤務の適切な管理」について所属長あてに文書を発出し、時間外勤務の縮減と適正管理に向けて次の取組を推進する。</p> <p>①時間外勤務代休時間(60H超)の取得促進 ②コスト意識を持った勤務時間管理の徹底 ③スケジュール管理、情報の共有化による効率的な業務の遂行 ④休日勤務に対する振替制度の積極的活用</p> <p>・勤務時間の短縮に伴い導入したシフト勤務利用の促進に努める。</p> <p>・決算審査において、所属職員の人件費の支払状況を報告するなどし、人件費に対するコスト意識の浸透を図る。</p> <p>・7月から節電とあわせ「ほっと家族団らんデー」(水曜日)に時間外勤務をしないよう声掛けを実施する。</p> <p>※H22年度時間外勤務との比較</p> <p>(消防を除き、統計・選挙事務含む39,088H 35,816Hに対し)</p> <p>上期 18,118H(46.4% 50.6%) 期末 37,014H(94.7%)</p> <p>(消防、統計・選挙事務除く費用)</p> <p>上期 38,846千円(53.2%) 期末 73,974千円(102%)</p> <p>要因:プロジェクト事業の推進 :東日本大震災支援対応</p>		H22	H23	H24	H25	H26
	取組事項	時間外勤務の抑制		スケジュール	実施	→	→	→	→
	取組内容	<p>事務・事業の改善、業務配分の平準・適正化等により時間外命令の削減に取り組み、時間外勤務の抑制に努める。</p> <p>※H21時間外勤務手当合計(消防を除く) 65百万円 ※H22時間外勤務手当合計(消防を除く) 73百万円 (要因:9月の集中豪雨災害対応,3月の東日本大震災支援対応)</p>		数値目標	(△0.3) △0.3	(△0.5) △0.8	(△0.6) △1.4	(△0.6) △2.0	(△1.0) △3.0
				達成値	(8.0) 8.0	(9.0) 17.0			
				進捗目標					
				達成度					
				財政効果					
				備考					

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 企画政策課					
19	細目	(1)行政評価システムによる事務事業の整理合理化	<p>スケジュールとしては、平成23年度からは、現在まで実施してきた事務事業評価に加える。ことについては、その評価プロセスに時間と労力がかかる割に施策への成果が見えにくいことから、施策評価を見送った。一方、今まで実施してきた評価を分析したところ、現在の評価方法は事務負担が大きいが、職員にPDCAを用いた目標管理型評価に対する考えが身に付いたという一定の成果があった。</p> <p>今後は、日頃の業務に対するPDCA概念の定着化を図り、新たな行政評価システムの手法、位置付けを検討する。</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	行政評価システムの確立			スケジュール①	検討・実施	→	⇒	⇒	→
	取組内容	<p>効率かつ透明性の高い行政運営を推進するため、①全事務事業評価並びに②全施策評価を実施(公開)するとともに、総合振興計画や予算編成、定員管理等との連携を図り、実効性のある行政評価システムの確立を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象事業の目的体系化(616事業 → 239事業) ・事務事業評価の実施(132事業/239事業) ・施策評価会議(11/1~11/10) ・部長評価 ・H24以降 合理的な新たな評価システムを検討 <p>*行政評価</p> <p>市が行う事務事業に対するPDCA評価</p> <p>事業の目的や目指す状態を明確にし、それぞれの事務事業の目標値等を設定。事後にその達成状況を検証することにより、以後の改善計画などに結びつける</p>			スケジュール②	→	⇒	⇒	→	
					数値目標①	40%	60%	80%	100%	→
					数値目標②		30%	80%	100%	→
					達成値	53.9%	未実施			
進捗目標		手法の見直し	試行	完全実施						
達成度										
財政効果										
備考				<p>進捗目標① 事務事業評価数/全事務事業数</p> <p>進捗目標② 施策評価数/全施策数</p> <p>H24以降</p> <p>総合振興計画における目標を達成した指標の数/指標の数</p>						

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 企画政策課					
20	細目	(3)民間活力の積極的導入	<p>指定管理移行対象施設の検討実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在指定管理を導入している施設: 43施設 ・H23年度新たに指定管理者を導入する施設: 3施設(公募) ・10月からの指定管理者の募集に向けて、選定委員会を開催 ・公募中、1件が3社による競合となり、コストダウンをはかることができた ・平成26年度に指定管理の期限が切れる14施設についての選考基準などについて平成24年度・平成25年度上期に検討する <p>H24.4見込</p> <p>公募による指定管理施設: 32施設</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	指定管理者制度の活用			スケジュール	実施	→	→	→	→
	取組内容	<p>公の施設に対する市民ニーズに応えるため、制度導入による効果が見込まれる施設について、管理運営に民間事業者等の持つ技術やノウハウを活かす。</p> <p>H22.4 公募による指定管理施設数 29</p> <p>H23.4 公募による指定管理施設数 29</p> <p>*指定管理者制度</p> <p>公の施設について、民間事業者等に施設の管理や運営に関する権限を委任し、管理等を任せるもの。</p> <p>民間手法を活用した効率的かつ効果的な管理運営主体の選定を目指す。</p>			数値目標			35		
					達成値	29	32			
					進捗目標					
					達成度					
財政効果										
備考				数値目標: 公募による指定管理施設数						

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				市民生活部 こども支援課						
21	細目	(3)民間活力の積極的導入	<p>5/17第6回黒部市保育・教育あり方検討委員会開催</p> <p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の民営化、公民割合に関すること。 ・民営化する保育所の選定基準に関すること。 ・民営化引受法人の募集基準に関すること。 ・認可外保育施設に関すること。 ・その他必要とされること。 <p>7/6第7回黒部市保育・教育あり方検討委員会開催 テーマ:第6回委員会に同じ</p> <p>11/29第8回黒部市保育・教育あり方検討委員会開催 テーマ:第6回委員会に同じ</p> <p>2/29第9回黒部市保育・教育あり方検討委員会開催 テーマ:第6回委員会に同じ</p> <p>3/27黒部市保育・教育あり方検討委員会から検討テーマに関する提言を受けた。</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	保育所の民間移管		スケジュール	検討	→	→	→	実施	
	取組内容	子育てと仕事の両立を支援し、保育の質を落とすことなく、むしろ多様化する保育ニーズに柔軟に対応できる体制づくりを整えるために、また、公立保育所が抱える運営面での問題や財政的な見地から、公立保育所の一部民営化はどうあるべきか、また、公立保育所と民間保育所のどのような割合の運営が適切なものか検討する。		数値目標					1	
		H22年度 黒部市保育・教育あり方検討委員会設置		達成値						
				進捗目標	委員会設置				民営化	
				達成度	委員会設置					
		財政効果								
			備考	数値目標:民間移管保育所数						

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				教育委員会 生涯学習スポーツ課						
22	細目	(3)民間活力の積極的導入	公立美術館の民間委託実態調査を引き続き実施		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	黒部市美術館の指定管理者制度の導入	10/7 市美術館運営審議委員会で審議 小さな施設では指定管理者制度導入のメリットが無いと思われる。仮に導入するとしても施設管理部門のみの検討となる。他館の状況等を調査のうえ引き続き検討していく。	スケジュール	検討	検討	→	導入可否を決定		
	取組内容	既に指定管理制度を導入した宇奈月国際会館セレネ美術館との企画連携を密にし、施設の魅力度を高め、施設管理効率を高めるため、黒部市美術館への指定管理制度導入をめざす。 平成22年度 導入の可能性調査 平成23年度 導入の検討 平成24年度 小規模美術館の調査及び検討 当面は、運営審議会委員の意見を取り入れ、館の特徴を出して認知度を高め、来館者数を増やすことにより、指定管理ができる環境を整備する。 H22利用者数 12,605人 (内美術館入館者8,297人+普及利用者4,308人) H23利用者数 7,177人 (内美術館入館者5,006人+普及利用者2,171人)		3/21 市美術館運営審議委員会で、「小規模の美術館施設の聞き取り調査の上、指定管理者制度の導入方法を検討すること」を確認した。 今後 H24に県内小規模美術館(指定管理者制度導入館)の調査をし、導入方法を引き続き検討する。	数値目標	設定なし	7,000人	7,500人	8,000人	
		達成値	—	7,177人						
		進捗目標	セレネとの連携	施設管理への導入検討	企画運営 施設管理 企画 展への導入 検討	総合的に判断				
		達成度	セレネとの定期的意見交換	審議会で検討						
		財政効果								
		備考	数値目標: 来館者数							

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				全庁 総務企画部 企画政策課						
23	細目	(4)外郭団体の組織・経営の見直し	・所管課への外郭団体見直し指針の周知 ・見直し指針に基づき、外郭団体と所管課が協議、調整を行い、組織経営の見直しを実施		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	外郭団体の組織経営の見直し		スケジュール	検討実施	→	→	→	→	
	取組内容	「外郭団体見直し指針」に基づき、外郭団体ごとの見直しの方向性を明確化したうえで、統合や抜本的な見直しの検討を行うとともに、経営改善計画を策定し、団体における自立した経営を目指す。		※今後 指定管理施設の公募化への対応も含め、経営体質の改善と給与構造の適性モデルを調査する。	数値目標					
		達成値								
		進捗目標	外郭団体見直し指針に基づき実施							
		達成度								
		財政効果								
		備考								

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	取組実績	担当課	総務企画部 財政課							
				(下線は主管課)	H22	H23	H24	H25	H26			
24	細目	(4)外郭団体の組織・経営の見直し	公社解散処理の実施 ・6月議会において関連議案の議決(公社解散、債権放棄、基金条例廃止) ・10/19解散 解散による清算額 1,561,357千円 ・11/7、9、11 解散公告(官報) ・2/27 残余財産引渡し(普通預金 7,351,429円) ・3/7 清算結了登記 ・3/14 清算結了届									
	取組事項	黒部市土地開発公社所有地の簿価総額の縮減		スケジュール	実施	→	→	→	→			
	取組内容	事業用代替地として不用となった土地について、市の買戻しのみならず直接売却等も推進し、簿価総額を縮減する。		数値目標	(△150) △150	(△100) △250	(△70) △320	(△50) △370	(△30) △400			
		H22 年間達成度 151,820千円 101.2%		達成値	(△152) △152	(△1,561) △1,713						
				進捗目標								
				達成度								
				財政効果								
				備考	数値目標: 公社所有地処分額(単位: 百万円) (上段: 単年度 下段: 累計)							

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	取組実績	担当課	総務企画部 財政課							
				(下線は主管課)	H22	H23	H24	H25	H26			
25	細目	(5)公有財産の有効活用	未利用地の売却 4/22 2件 117㎡、2,064千円 →買取者が隣接地所有者のため、公募は実施せず。 公有財産活用検討委員会の開催 8/10 西小路市営住宅跡地売却 9月定例会において議決。 6月に仮契約を締結した内容で本契約する。 1件 5,667.91㎡ 104,856千円									
	取組事項	未利用地の活用		スケジュール	実施	→	→	→	→			
	取組内容	未利用となっている市有地等の財産について、売却処分、貸出を進め、財源確保に努める(開発事業者への売却など、コスト縮減方法を検討)		数値目標	(20) 20	(20) 40	(20) 60	(20) 80	(20) 100			
		売却実績 33,593千円(1360.2㎡)		達成値	(34) 34	(106) 106						
				進捗目標								
				達成度								
				財政効果	33,593	106,920						
				備考	数値目標: 未利用地売却額(単位: 百万円) (上段: 単年度 下段: 累計)							

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課 (下線は主管課)	総務企画部 財政課					
26	細目	(1)計画的な財政運営	H22実質公債費比率の算定(H22算定値:21.2%) 公債費負担適正化計画(H27年度算定値で18%未 満とする目標)における実質公債費比率を直近の 決算値に基づき補正する。		H22 (H21)	H23 (H22)	H24 (H23)	H25 (H24)	H26 (H25.)	
	取組事項	財政構造の健全化(実質公債費比率)		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	計画期間における実質公債費比率の目標値を設定し、健全化に努める。 <目標> 実質公債費比率を20%未満とする(平成26年度末)。 H19/22.0% H20/22.9% H21/22.8% H22/21.2%		数値目標					20% 未満	
		*実質公債費比率 当該年度の標準的な一般財源規模に対する償還公債費の比率 早期健全化基準値は25.0%であり、これを超えると『財政健全化計画』を策定し、計画的に財政健全化を目指すこととなる。		達成値	22.8	21.2				
				進捗目標						
				達成度						
		財政効果								
		備考	(毎年:9月公表数値)							

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課 (下線は主管課)	総務企画部 財政課					
27	細目	(1)計画的な財政運営	H23年度起債申請額(臨財債等除く)949,700千円 社会資本整備に係る新規の地方債の発行額については、15億円以内としている。 H23年度末起債残高 / 157億円 H24年度起債申請額(臨財債、基金造成除く)1,821,300千円 ※H24年度～26年度の期間は、新幹線駅周辺整備や新庁舎建設といったハード事業の集中期間となる。新規債発行枠の未借入額がH18年度～H23年度で約15億円あり、この分をハード集中期間中に充当することで、平成24年度～平成26年度の社会資本整備に係る新規発行額を20億円以内とする。		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	財政構造の健全化(起債残高)		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	計画期間における社会資本整備に係る起債残高の目標値を設定し、健全化に努める。 <目標> 社会資本整備分の起債残高を概ね154億円とする。(平成26年度末) H19年度末/167億円 H20年度末/165億円 H21年度末/162億円 H22年度末/157億円 H23年度末/157億円		数値目標					154億円	
				達成値	157億円	157億円				
				進捗目標						
				達成度						
		財政効果								
		備考								

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 企画政策課 ⇒ 総務企画部 財政課					
28	細目	(2)財政基盤の強化	H22.4に財政健全化プラン策定 (プランに掲げた取組みは、全て行革アクションプランと連動)		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	財政健全化プランの作成		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	行革大綱に基づく取組みが財政面で果たす効果を見通すとともに、健全財政を確保していくための目安となる財政指標を設定し、計画的な財政運営を行うための「財政健全化プラン」を作成する。		数値目標						
				達成値						
				進捗目標	財政健全化計画に基づき実施					
				達成度						
				財政効果						
備考										

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課 (下線は主管課)	総務企画部 税務課					
29	細目	(2)財政基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・納税通知書及びチラシでの口座振替をPR ・家屋評価時に固定資産税の口座振替をPR (4月～3月 130件) ・ケーブルテレビでの口座振替を広報(5月～9月) ・窓口での口座振替の推進 ・訪問による催告(5月・7月・9月・11月) ・督促状(4月～3月)、催告書(5月・7月・9月・11月・3月)及び随時文書送付 ・高額滞納者リスト作成による対応の検討 ※差押件数 (H24.3末 244件) ・平成23年度市税歳入予算額 7,403百万円 平成23年度収納率見込99.18% 見込(調定額7,684百万円 収納額7,621百万円) 		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	市税収納率の向上		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	口座振替納税の推進、滞納処分の強化等により収納率向上と滞納額圧縮を図る。 *参考 平成21年度収納率:99.00% (調定額 7,920百万円 収納額 7,841 百万円) 平成22年度収納率:99.22% (調定額 7,768百万円 収納額 7,707百万円)		数値目標	99.01%	99.02%	99.03%	99.04%	99.05%	
				達成値	99.22%	99.18%				
				進捗目標						
				達成度						
				財政効果						
備考	数値目標: 収納率(H23は0.01ポイントの収納率向上で約740 768千円の効果)									

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課 (下線は主管課)	都市建設部 都市計画課					
30	細目	(2)財政基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替不能者に対して不能通知送付(毎月) ・滞納者あて督促状送付(納期の翌月) ・滞納者あて催告書送付(2か月に一度) ・保証人あて納付促進依頼送付(2か月に一度) ・随時納付(集金)対応 H23上期歳入調定額 37,351,700円 同 収 納 額 35,971,400円 収 納 率 96.30% ※今後 収納率を上げるためどう取組むのかを検討 H23年度期末実績見込み 収納率 98.2% 72,738,000円 / 74,072,100円 (入居戸数約 280戸)		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	住宅使用料収納率の向上		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	口座振替納税の推進、入居者の生活実態に合わせた徴収強化等により収納率向上と滞納額圧縮を図る。		数値目標	98.0%	98.2%	98.4%	98.6%	98.8%	
		*参考 平成21年度収納率:97.83% 76,691,400円/78,392,500円 約340戸 平成22年度収納率98.2% 78,120,400円/79,568,900円 約340戸		達成値	98.2%	98.2%				
				進捗目標						
				達成度						
				財政効果	160	150				
		備考	数値目標: 収納率(0.2ポイントの収納率向上で約150千円の財政効果)							

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課 (下線は主管課)	総務企画部 財政課					
31	細目	(2)財政基盤の強化	H22年度に、H23年度当初予算編成において実施した補助金の見直しについて、当該予算の執行状況の確認及びチェックを行っている。		H22 (H23)	H23 (H24)	H24 (H25)	H25 (H26)	H26 (H27)	
	取組事項	補助金の適正化		スケジュール	検討	実施	→	→	→	
	取組内容	補助金交付先における事業実施自立プログラムの策定を実施するとともに、所管課におけるヒアリング・査定機能を強化する。		数値目標	(△48) △48	(0) △48	(0) △48	(△48) △96	(△0) △96	
				達成値	(△48) △48	(0) △48				
				進捗目標						
				達成度						
				財政効果	48,180	48,180				
		備考	数値目標: 補助金削減額(単位: 百万円) (上段: 単年度 下段: 累計)							

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課 (下線は主管課)	総務企画部 財政課				
32	細目	(2)財政基盤の強化	下水道事業債繰上償還額 19,813千円 利子効果 4,327千円 水道事業債繰上償還額 66,516千円 利子効果 13,696千円 一般会計債繰上償還額 124,391千円 利子効果 4,694千円 (利子効果：繰上償還による支払利子軽減額)		H22	H23	H24	H25	H26
	取組事項	公債費の削減		スケジュール	実施	→	→	→	→
	取組内容	計画的な繰上償還、低利債への借換等により公債費の削減に努める。		数値目標					
				達成値					
				進捗目標					
				達成度					
				財政効果	7,681	22,717			
				備考					

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課 (下線は主管課)	上下水道部 経営課				
33	細目	(3)公営企業の経営健全化	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度は、2組合(大町、協水会)と上水道加入協定について協議中 平成24年度の上水道正式移行に向け、大黒町簡易水道組合(105戸)において市のメータに交換予定 平成23年7月から水道料金改定を実施、対象全軒に料金改定概要を周知 平成23年9月末の上水道の普及率は、62.3% 平成23年度下半期 ・協水会と加入協定締結 ・大黒町・協水会のメータ交換 ・大町と加入協定協議継続 平成23年度末の上水道の普及率は、62.7%		H22	H23	H24	H25	H26
	取組事項	水道事業の経営健全化		スケジュール	実施	→	→	→	→
	取組内容	計画給水区域の整備促進を図るとともに、民営簡易水道組合や水道未加入者(個人)の加入促進を図り、普及率の向上に努める。 平成21年度末の上水道の普及率は、60.2% 平成22年度末の上水道の普及率は、61.4% *水道普及率 給水人口/給水区域内人口		数値目標	61.8%	63.0%	64.2%	65.3%	66.5%
				達成値	61.4%	62.7%			
				進捗目標					
				達成度					
				財政効果					
				備考	数値目標：普及率				

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	取組実績	担当課	市民病院					
				(下線は主管課)	H22	H23	H24	H25	H26	
34	細目	(3)公営企業の経営健全化	<p>8月までの経常収支比率 111.0%(目標は達成)</p> <p>主な取組 医事課での診療報酬の指導料、加算のより適切な算定、管財課での先発医薬品から後発品への切替効果があげられる。</p> <p>3月までの経常収支比率 103.7%(目標は達成)</p> <p>院内関係者で診療報酬請求に関する勉強会を行い、前期に引き続き増収に努めた。 支出面では、全体予算の範囲内で取捨選択を行い支出の抑制に努めた。</p>							
	取組事項	病院改革プランの遵守		スケジュール	実施	実施 検討	実施	→	→	
	取組内容	平成20年度より策定・管理を行なっている公立病院改革プランに基づき、健全経営を維持していく取り組みを継続していく。 また、その評価・分析については、ホームページなどにも公表していくこととする。 健全経営の指標としては、経常収支比率を用いることとし、100%以上を目標としていく。		数値目標	97.4%	100.9%	101.1%	100.2% 101.1%	101.1%	
		経常収支比率実績 平成22年3月末 99.0% 平成23年3月末 102.3%		達成値	102.3%	103.7%				
		*経常収支比率 経常収益(医業収益+医業外収益)/経常費用(医業費用+医業外費用)		進捗目標						
				達成度						
				財政効果						
		備考	数値目標:経常収支比率							

No.	基本項目	7. 職員の意識改革と時代に対応した行政サービスの提供	取組実績	担当課 (下線は主管課)	総務企画部 総務課					
35	細目	(4)安全・安心な市民生活の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・6/7防災危機管理に係る情報連絡地区担当職員の増員及び役割の明確化 ・6/24市職員全員の携帯電話へ気象警報・火災情報等の緊急情報を電子メールにより配信スタート ・警報発令時の職員登庁体制の確立 ・9/11市総合防災訓練の実施(音沢、宇奈月、内山の3地区同時開催、孤立集落を想定した訓練等を新規実施) 今後の予定 <ul style="list-style-type: none"> → 海拔・海岸からの距離表示番の設置 → 避難所調査 → 災害備蓄品の補充、整備 → 防災行政無線の到達度調査 ・11月避難所77カ所の調査完了 ・1/24 防災行政無線の到達度調査完了 ・3/1 避難所及び海岸部電柱への海拔・海岸からの距離表示完了 ・災害備蓄品の補充完了 <p>※危機管理想定マニュアルの整備は、東日本大震災の発生により地震・津波対策、避難者対応に重点を置く必要があり、取り組みを平成24年度に先延ばしとした。</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	危機管理体制の充実		スケジュール	検討実施	→	→	→	→	
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)危機管理室の庁内組織の設置検討 危機管理室の設置等、危機管理体制の明確化に努める。 ・防災訓練の実施 災害対策本部の設置、指揮命令系統や情報伝達システムの機能確保のため定期的な実施と、参加した市民や各種団体が緊急時に適切な対応ができるよう工夫した防災訓練を行う。 ・災害等緊急情報の充実と迅速化 災害発生時の被害等を最小限に食い止めるため、防災行政無線やCATV、コミュニティFM、防災メール等の手段の充実と緊急情報の迅速な提供に努める。 <p>H22 防災危機管理班を編成、各部に災害危機管理担当を配置</p> <p>市内16地区に情報連絡地区担当職員を配置</p> <p>12月黒部市危機管理指針を策定</p> <p>3月Jアラートの整備</p>		数値目標						
				達成値						
				進捗目標	危機管理指針策定、Jアラート連携体制構築	危機管理想定マニュアルの整備	危機管理想定マニュアルの整備			
				達成度	危機管理指針策定、Jアラート整備	未実施				
				財政効果						
備考										